

近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会事務局
〒545 大阪市阿倍野区旭町1-4-54
大阪市立大学医学部環境衛生学教室内
TEL 06-645-2056
発行責任者 堀 口 俊 一

あけましておめでとうございます

旧年の後半は中東湾岸情勢に大きく揺れながら暮れました。

アメリカが提案した新年1月15日の期限にはどんなことになるのか世界中が不安と期待を込めてこの一点をじっと見詰めている、そんな情勢の中で当近畿地方会では年明け間もない3月末から4月はじめにかけて第64回日本産業衛生学会、第50回日本産業医協議会の開催を控え、堀口企画運営委員長を中心に準備万端がすすんでいるので、地方会員全体で盛り上げ、実り多い学会になることを祈っております。

さて、昭和62年に労働基準法が改正され、63年4月から5ヶ年（平成4年度）の計画期間中に週40労働時間制（完全週休2日制）を期し、年間総実労働時間を1800時間程度にできるかぎり短縮する。このために年次有給休暇の完全取得の促進、連続休暇の定着、所定外労働時間の削減を重点として推進することとなっている。実施に先立ち平成元年1月には労使のトップで構成する労働時間短縮政策会議による労働時間短縮に関する提言として15項目の意見が示された。人生80年時代到来の今、“国民

地方会長 三 浦 武 夫

一人一人が真剣に労働と自由時間のベストプランを考える良い機会”と位置付けられている。他方朝日新聞の論説では「過労死」を経済大国日本を支える働きすぎの象徴とし、そのままローマ字で世界に報道されるまでになったとし、過労死を「新しい労働災害」としている。さらに生保会社の15年以上勤続サラリーマンのアンケート調査の報道の中で「勤続疲労」という今まで耳慣れない新語（マスコミが作ったとされる過労死を思い出す）が使われている。しかしこの言葉は大変味わいのふかい言葉で、はからずも問題の本質を考える上で一歩も二歩も前進する可能性を含んでいるとおもわれる。つまり労働省の認定基準「直前の24時間の業務」から3年まえに「1週間の業務等も勘案する」ことにしたことの意味をさらに拡大するもので、直前の業務状態は勿論重要であるが、これは直接のきっかけであって、その本質はここでいう長年にわたるオーバーワークによる「勤続疲労」にあることを示すものではないかと考えられるからである。

—1990. 12. 6 記—

☆平成3(1991)年度第31回近畿産業衛生学会の学会長・塚本利之兵庫医大教授に決まる。

第30回近畿産業衛生学会を顧みて

堀 口 俊 一

第30回近畿産業衛生学会は平成2年10月27日、関西医科大学において、原一郎教授を学会長として開催された。

前年の学会に続き、今回も盛会で、一般演題は24題に及び、午後の部は2会場に分かれて発表がなされた。特別講演は2題で午前中国予防医学科学院労働衛生職業病研究所の蔡世雄先生が「最近の中国労働衛生」について、中国の有害物質の許容濃度表など配布され、わかりやすく紹介された。午後は原一郎教授から「職業性中毒の回顧と展望—自験例を中心に—」と題して、長年にわたるこれまでの労働現場に立脚した調査研究の数々を紹介いただいた。原教授は来年定年を迎えられるとのことであるが、今後ともわが国の労働衛生のために御尽力されることを期待している。一般演題は鉛、溶剤など有害物質に関するものが半数以上を占め、その他ライフスタイルなど健康管理に関するものがこれに次いだが、疲労

や頸肩腕障害に関するものは各1題に過ぎなかった。

学会の後、懇親会が関西医大同窓会館である加多乃会館で開かれ、地方会会員の親睦を深めた。来年は兵庫医科大学・塚本利之教授が学会長として開催される予定である。



＜研究会のお知らせ＞

第25回 頸肩腕障害研究会

日 時：平成 3 年 1 月 26 日(土) 午後 1 時～午後 5 時
場 所：N T T 堂島支店 6 階,
堂島健康管理科（テレパーク堂島第三ビル）
（大阪市北区堂島3-1-7 ☎ 06-455-4445
阪大病院の直ぐ東隣）
議 題：「頸肩腕障害の定義改訂」をめぐる話題と討論
世話人：菰池義彦

じん肺研究会

日 時：平成 3 年 2 月 16 日(土) 14:00～15:00
場 所：薬業年金会館

＜産衛学会関連のお知らせ＞

産業疲労研究会・腰痛研究会 合同研究会

日 時：1991年 2 月 2 日(土) 10時30分～17時
場 所：岡山大学・医学部 図書館 3 階 講堂
パネルディスカッション：
テーマ「疲労対策からみた腰痛問題」
産業疲労研究会 世話人代表 斉藤良夫
腰痛研究会 世話人代表 青山英康
連絡先：岡山大学医学部衛生学教室 井谷 徹
〒700 岡山市鹿田町2-5-1 ☎ 0862-23-7151 内2351
FAX 0862-24-9324

第24回 中小企業衛生問題研究会 全国集会

日 時：平成 3 年 2 月 7 日(土) 午前10時～午後 5 時
場 所：財団法人 京都工場保健会
京都市中京区西ノ京北壺井町（西大路太子道西入ル）
内 容：1.一般演題（午前）
2.特別講演（午後）
「中小零細企業における職業性中毒の回顧」
原 一郎（関西医大）
3.シンポジウム（午後 2 時30分～ 5 時）
「社会情勢の変化と中小企業 の健康問題」
世話人：田中健一、水野 洋
連絡先：京都工場保健会 田中健一
☎ 075-802-0131 FAX 075-802-0129

今回の全国集会は近畿地方会中小企業衛生問題研究会
と共催いたしますので、地方会の方々の御参加を切望します。

＜関連学会のお知らせ＞

第61回 日本衛生学会総会

	午 前	午 後	夕
4 月 2 日(火)	幹 事 会	評議員会 教育協議会	
4 月 3 日(水)	一般発表	総 会 次期会長講演	懇 親 会
4 月 4 日(木)	一般発表	一般発表	

学会長：糸 川 嘉 則

＜地方会事務局からのお願い＞

平成 2 年度の会費を振り込まれたときに住所、所属名
で送金された方がいらっしゃいます。事務局ではお名前
を特定できません。所属名は以下のとおりです。お心当
りの方は事務局まで文書でご連絡下さい。

富士電機(株)神戸工場、日本通運(株)和歌山支店、兵庫信
用金庫健康保険組合、矢倉診療所、福田金属箔粉工業、
川崎重工業(株)C P 事業部、朝日新聞大阪本社診療所、

講 演：じん肺の臨床 ― 窯業じん肺を中心に―
吉野貞尚（元旭労災病院副院長）
世話人：横山邦彦、瀬良好澄

有機溶剤研究会・産業衛生技術研究会

日 時：平成 3 年 2 月 23 日(土) 13:00～17:00
場 所：関西医大セミナールーム
テーマ：有機溶剤の曝露評価法の最近の動向
演題を募集します。締め切り：平成 3 年 1 月末。
世話人：杉本寛治
連絡先：田淵武夫
〒537 大阪市東成区中道1-3-69 大阪府立公衆衛生研究所

第32回 産業精神衛生研究会

日 時：平成 3 年 2 月 9 日(土)
場 所：東京
世話人：西原、福渡 靖

産業疲労研究会からのお知らせ

産業疲労研究会では、会員名簿を整備するため会員登録
を行うことに致しました。研究会の案内・通信等を希
望される方は、次の要領で登録して下さい。
登録費用：1992年度までの通信費等として、3年分1,000円
登録方法：郵便振替用紙の通信欄に氏名（ふりがな）、
連絡先の住所（職場の場合は勤務先名や部署
まで記入）、電話番号を明記の上、1,000円の
会費を添えて下記の口座（郵便振替口座）に
お振り込み下さい。
郵便振替口座番号 京都-7-9233 産業疲労研究会
事 務 局：奈良医大衛生学 近藤
☎ 07442-2-3051 内2244

産業看護研究会からのお知らせ

来る平成 3 年 3 月 29 日(金)～ 4 月 1 日(月)に開催されます。
第64回日本産業衛生学会に於て産業看護研究会第25回全
国集会を開きます。
今回は、25回継続してきた実績をふり取り、今後の発
展への基礎となることを願って『「鼎談」産業看護研究会
のあゆみ―明日にむかって―』と、討論を致します。歴
史を十分知って今後に大きく飛躍出来るようにと考えま
すので多数の参集をお待ちしています。
なお、この産業看護研究会全国集会は平成 3 年度の総
会をもって産業看護部会に生れ変わろうとしております。
世話人 深澤くにへ、上田美代子

会場：京都ブライトンホテル
（京都市上京区新町通中立売）
きょうと平安会館
（京都市上京区烏丸通上長者町）
京都私学会館（京都市上京区烏丸通下長者町）
（注：4 月 2 日の会場は京都ブライトンホテルの
み使用）

第61回日本衛生学会総会事務局
〒606 京都市左京区吉田近衛町
京都大学医学部衛生学教室内
☎ 075-753-4456 FAX 075-751-9036
（郵便振替 京都 0-3321）

神戸共同病院、南海電鉄健康管理センター、(株)神戸製鋼
所高砂製作所、(財)京都工場保健会、ライオン(株)大阪支店
健康管理室、(株)クボタ健康管理センター、ミノルタカメ
ラ(株)伊丹工場、積水化学工業(株)尼崎工場、兵庫信用金庫
健康保険組合、以上16所属の方々です。

かねてより近畿地方会会費のお振込の際には会員名
のご記入（振込用紙の表裏どちらでも可）をお願いして
おります。今後ともご協力頂きますようお願い申し上げます。